

旭川空港利用実態調査について

1 調査の目的

旭川空港の利用客を対象に空港の利用実態を調査し、旭川空港の利用目的、二次交通等の利用実態の把握及び課題等を把握することで、旭川空港の利用拡大に資するため、空港の利用目的や二次交通の実態を把握するための調査を行う。

2 調査実施主体

旭川空港利用拡大期成会

3 調査の内容

(1) 調査対象 旭川空港の国内線・国際線の利用客とし、搭乗便の1割を抽出

(2) 調査方法 搭乗待合室内の旅客に対して質問票による調査を行う。

(3) 調査時期 次の4区分により調査を行い、各期において任意の平日と土日祝日を抽出して調査を行う。また、調査は原則として国際線の就航日とする。

ア 通常期 7月21日(土)、24日(火) **実施済み (計638件)**

※旭川市内小中学校の夏期休暇前、国際チャーター便運航前)

イ 夏ピーク期 8月7日(火)、11日(土) **実施済み (計552件)**

※旭川市内小中学校夏期休暇中、国際チャーター便運航

ウ オフピーク期 (11月)

エ 冬ピーク期 (12月下旬から1月中旬)

(4) 調査実施場所

ア 国内線…国内線出発ロビー、搭乗待合室

イ 国際線…国際線出発ロビー、搭乗待合室

(5) 調査項目

ア 空港利用回数

イ 利用目的

ウ 訪問(滞在)場所

エ 二次交通手段

など